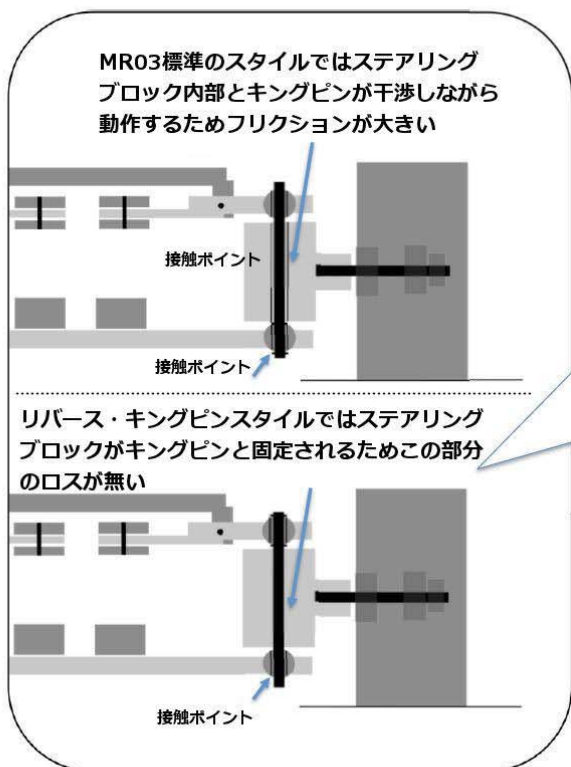


## リバース・キングピンスタイルが優位な理由

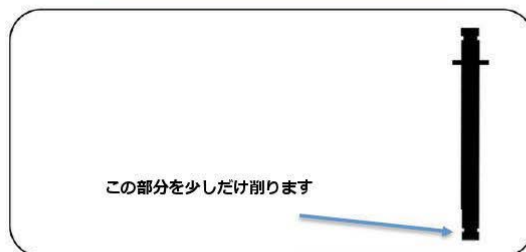


LeViteZerのサスペンションはMR03のノーマルサスペンションでも動作します。しかしメーカーはPN Racingの下記製品との併用を推奨しています。この理由はメーカーによって説明されています

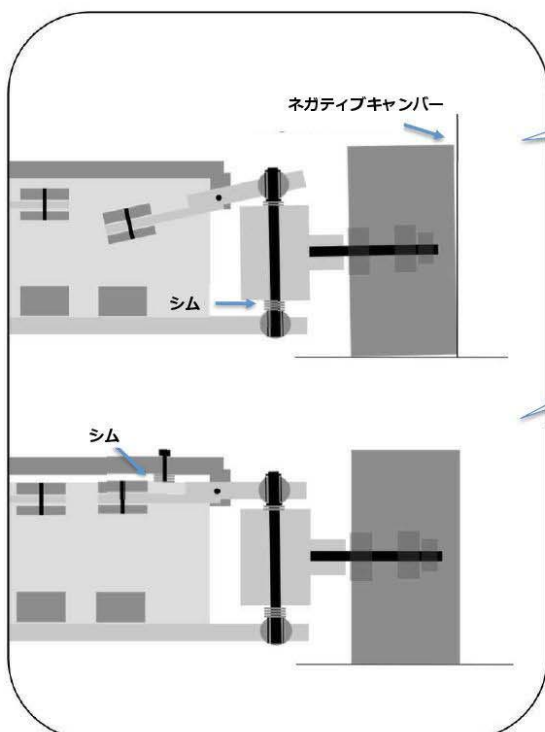
メーカー推奨のPN Racingパーツ  
 [PN-MR3055] Mini-Z MR03用テフロンボール・キングピンセット  
 [PN-MR3051WS] MINI-Z MR03アルミタワーバー・ワイド (シルバー)  
 [PN-3052WS] MINI-Z MR-03用フロント・ロアアームセット (ワイド・シルバー)

特にPN-MR3055を用いて「リバース・キングピン」スタイルにすることによりフロントサスペンションの動作が軽くなり、さらに後述するキャンバー調整がおこないやすくなります

リバース・キングピンスタイルではキングピンはホイールと一緒に上下します。フロントサスペンションがフルボトムしたときに路面との間に少なくとも1mmの隙間があることを確認してください。もし路面とキングピンが干渉する場合は下図のようにキングピン下側を削ってください



## フロント車高とキャンバー調整



リバースキングピンスタイルを前提に話しを進めていきます  
 左図のようにステアリングブロック下にシムを追加することでネガティブキャンバーをつけることができます。ただしこの場合追加したシムの分フロント車高が下がります。車高を変えずにネガティブキャンバーを付けたい場合はステアリングブロックの上にシムを追加してください

左図下のようにタワーバーの下にシムを追加することでもキャンバー角を得ることが出来ます。

タワーバーをシムで上げすぎるとサスペンションの動作範囲が大きくなります。この結果ちょっとしたクラッシュでキングピンが外れてしまう事がありますこれを防止するために下図のように長いネジを用いてアッパーアームの動作を規制する方法があります



## アンチロールの強さとサスペンションの硬さ調整



Levite Zerのサスペンションシステムではスプリングの代わりにマグネットを用います。1つは左右のサスペンションを連動させアンチロール効果を得るため、そしてもう1つはサスペンション自体の硬さをコントロールするためです

アンチロール効果は左右のアップーアームのマグネットが引き合うことで実現します。この部分のマグネットの大きさがアンチロール効果の効き具合を調整できます。左図一番上の写真は最もアンチロール効果が大きく、続いて二番目は中間、そして三番目は最もアンチロール効果がすくない設定です

サスペンションの硬さはマグネットホルダーにどの大きさのマグネットをどこに配置するかで調整できます。左図下の4つの写真を参考に色々試してみましょう

輸入・販売 kimihiko-yano.net

〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本3-3-7溝の口ハイツ2F TEL/FAX 044-844-5388 sales@kimihiko-yano.net

この説明書の内容は kimihiko-yano.net の著作物です。

いかなる場合でも全部、一部を問わず配布・複製・その他の商用利用を禁じます

Copyright 2013 kimihiko-yano.net All Rights Reserved

[www.kimihiko-yano.net](http://www.kimihiko-yano.net)